

県立矢切特別支援学校の実践について

栄特別支援学校と同じ、総合的な教育機能を有する特別支援学校の整備に係る取組の発表でした。

1年目の取組ということで、施設設備の検討、教育課程の検討、知的障害と肢体不自由の特別支援学校についての研修の実施などに取り組んでいただきました。特に、教育課程の編成では、これまで、矢切特別支援学校が積み重ねていた教育課程の特色を生かしながら、肢体不自由のある子供たちのための教育課程の検討をされており、今後、多様な障害種の児童生徒が学ぶ特別支援学校として、一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の編成に大きく期待をしております。

今後、肢体不自由の機能を持つ松戸特別支援学校との連絡体制をより高めていただいて、準ずる教育課程の編成や、校内で対応できる環境整備等の準備を進めていただければと思います。新学習指導要領でも確認されておりますが、教育目標の達成ために、一人一人の児童生徒の実態に応じて、何を、どのように学ぶのかという視点を大切にして、引き続き教育課程の編成に取り組んでください。